



**全国1,500名
物価の生活に与える影響
に関する意識調査**

～ 低所得者層ほど負担感が顕在化～

2008年2月

日本労働組合総連合会

調査概要 1

調査の目的

連合は、労働者の代表として、すべての働く人々とそのご家族が暮らしやすい社会にするために、「社会保障」や「税制」「ワークルール」など様々な面で働きかけをおこなっています。本調査はその活動の一環として「物価が生活に与える影響」に関する人々の意識を調査し、その結果を今後の活動に活かすことを目的としています。

調査の方法

インターネット調査

調査対象

全国20代～50代の 男女1500名（調査会社登録モニター起用）
女性1,000名 20代、30代、40代、50代 各世代250名ずつ
男性500名 20代126名、30代126名、40代124名、50代124名

回収サンプル数

1,500サンプル回収（男性 500名 / 女性 1,000名）

全体内訳

各性別で世帯年収 300万円未満 : 300万円以上～700万円未満 : 700万円以上 = 450名 : 600名 : 450名

女性のみ全員家計簿を付けている方です。

世帯年収が日本の実態に近づくように世帯年収に対する割り付けしています。

また、物価動向に即した実感調査する観点から、「家計簿をつけ」物価動向に敏感と考えられる人を中心にアンケートを行いました。

実査時期

2008年2月8日(金)～11日(月)

調査概要2

調査対象の属性(世帯年収、年代、性別)

年収300万円未満

	20代~	30代~	40代~	50代~
男性	38	38	37	37
女性	75	75	75	75

年収300万円以上700万円未満

	20代~	30代~	40代~	50代~
男性	50	50	50	50
女性	100	100	100	100

年収700万円以上

	20代~	30代~	40代~	50代~
男性	38	38	37	37
女性	75	75	75	75

調査概要3

調査対象の属性(職業 性別)

	会社役員	会社員 (正社員)	公務員	等士・ 士 ()	師・ 家 (医 護 士)	自 営 業	契 約 社 員 ・ 派 遣 社 員	主 婦 ・ 主 夫	パ ー ト ・ ア ル	家 事 手 伝 い	学 生	無 職	そ の 他
男性	24	282	35		14	75	29	3	38	0	0	0	0
女性	6	186	22		11	48	82	461	184	0	0	0	0

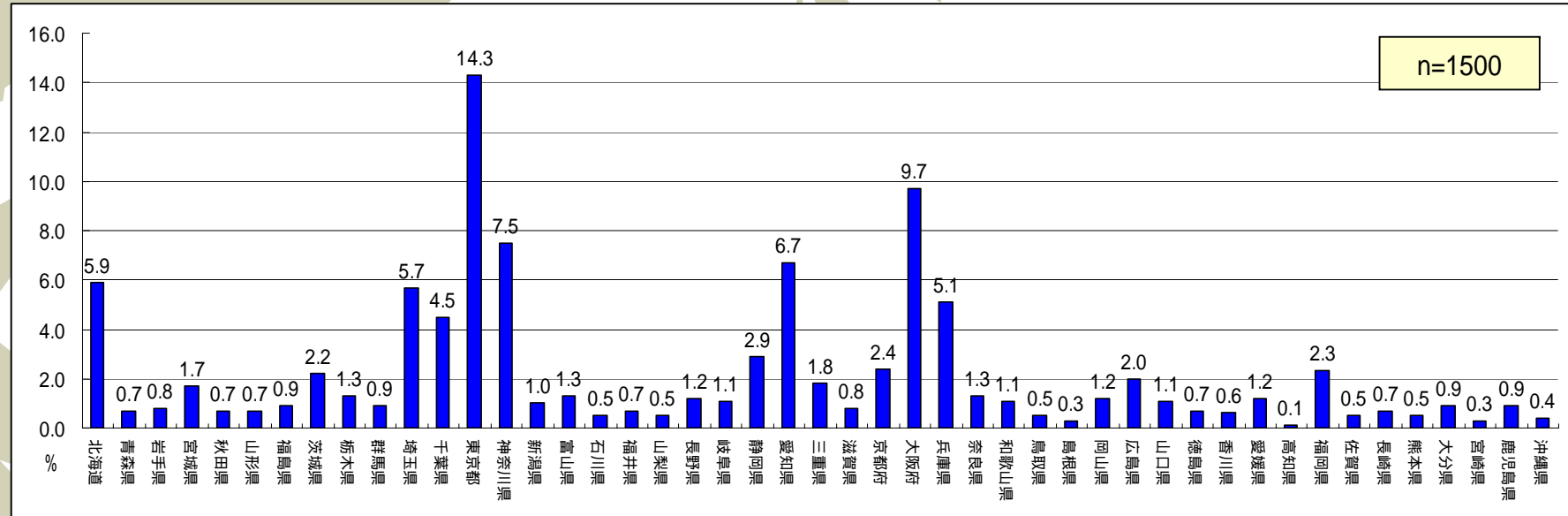
調査対象の属性(職業 年収)

	会社役員	会社員 (正社員)	公務員	会 計 士 等 ()	師・ 家 (医 護 士)	自 営 業	約 社 員 ・ 派 遣 社 員	主 婦 ・ 主 夫	パ ー ト ・ ア ル	家 事 手 伝 い	学 生	無 職	そ の 他
300万円未満	6	103	3		6	53	66	97	116	0	0	0	0
300万円以上～700万円未	9	205	21		8	45	28	225	59	0	0	0	0
700万円以上	15	160	33		11	25	17	142	47	0	0	0	0

調査対象の属性(家計簿をつける習慣)

	家計簿をつけている	家計簿をつけていない
男性	143	357
女性	1,000	0

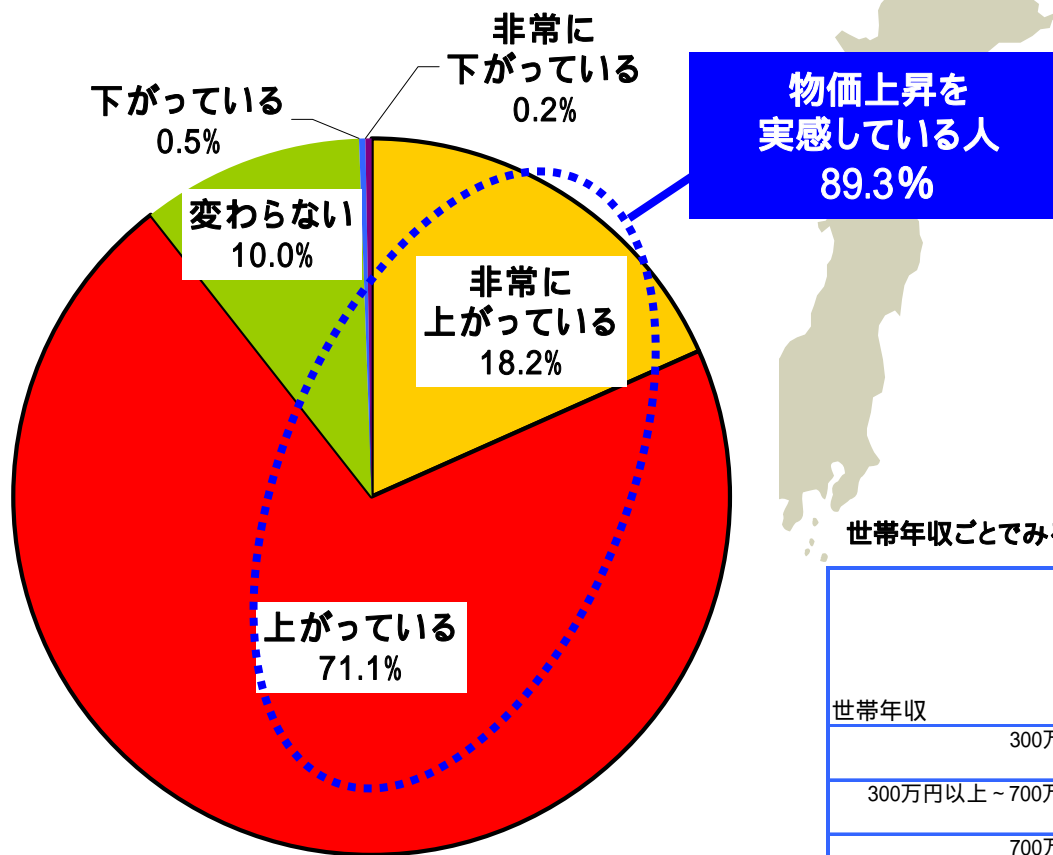
調査概要4



都道府県	人数
北海道	89
青森県	11
岩手県	12
宮城県	25
秋田県	10
山形県	11
福島県	13
茨城県	33
栃木県	19
群馬県	13
埼玉県	85
千葉県	68
東京都	215
神奈川県	113
新潟県	15
富山県	19
石川県	7
福井県	10
山梨県	7
長野県	18
岐阜県	17
静岡県	44
愛知県	101
三重県	27
滋賀県	12
京都府	36
大阪府	145
兵庫県	76
奈良県	19
和歌山県	17
鳥取県	7
島根県	5
岡山県	18
広島県	30
山口県	16
徳島県	10
香川県	9
愛媛県	18
高知県	2
福岡県	34
佐賀県	8
長崎県	11
熊本県	7
大分県	14
宮崎県	5
鹿児島県	13
沖縄県	6

Q1. 物価は1年前に比べてどう変わりましたか。
 (あなたの実感に近いものをお答え下さい)

n=1500

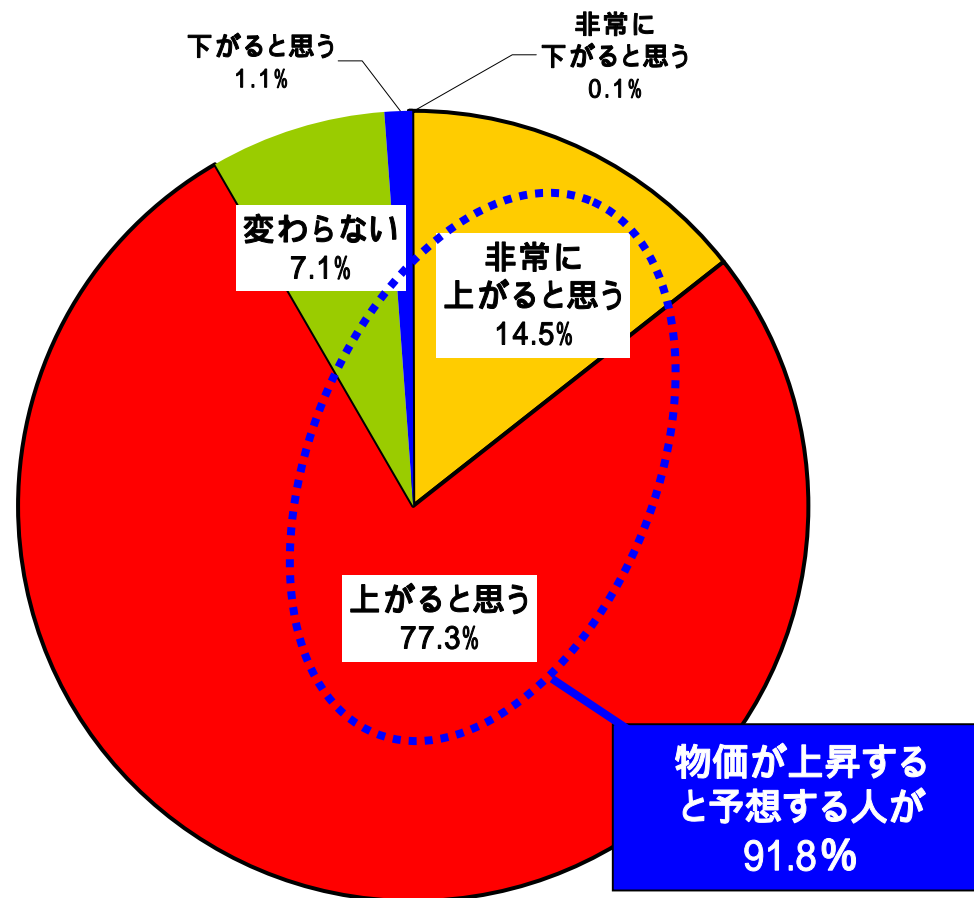


世帯年収ごとでみる負担感

世帯年収	非常に上がっている	上がっている	変わらない	下がっている	非常に下がっている
300万円未満	95 21.1%	302 67.1%	47 10.4%	3 0.7%	3 0.7%
300万円以上～700万円未満	109 18.2%	439 73.2%	51 8.5%	1 0.2%	0 0.0%
700万円以上	69 15.3%	326 72.4%	52 11.6%	3 0.7%	0 0.0%

約9割の人が、物価上昇を実感していることが分かります。
 また、この負担感は、年収によらず共通していることが分かります。

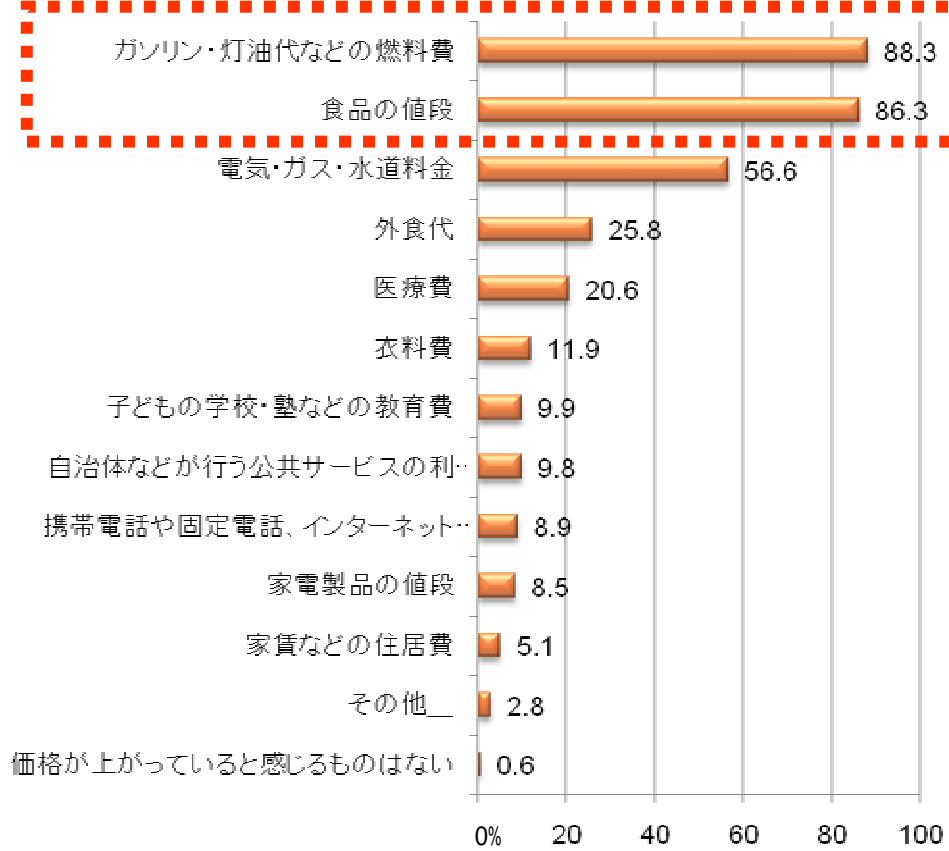
Q2. 1年後の物価は、現在と比べるとどうなるとお考えですか。 n=1500



現状の物価動向を踏まえて、9割以上の方が「物価が上昇する」と考えています。

Q3.価格が上がっていると感じる商品・サービスをお教え下さい。(いくつでも)

n=1500

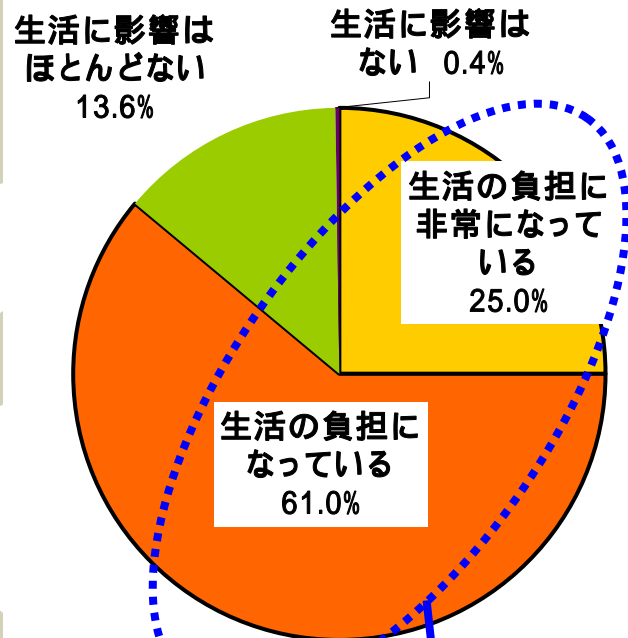


生活の中で、価格の上昇を感じている項目として、「ガソリン・灯油代」「食料品」が集中して挙げられており、日々の家計への影響が大きいことがわかりました。
また、これらの実感は世帯年収によらず共通のものであることがわかりました。

		%	食品の値段	外食代	家賃などの住居費	電気・ガス・水道料金	ガソリン・灯油代などの燃料費	家電製品の値段	医療費	衣料費	子どもの学校・塾などの教育費	携帯電話や固定電話、インターネットなどの通信費	自治体などが行う公共サービスの利用料	その他	価格が上がっているものはない
全体	1500	100.0	1294	387	77	849	1324	128	309	178	148	134	147	42	9
			86.3	25.8	5.1	56.6	88.3	8.5	20.6	11.9	9.9	8.9	9.8	2.8	0.6
世帯年収	300万円未満	100.0	89.3	25.1	6.0	59.6	88.7	11.1	19.8	13.3	8.2	9.8	11.6	2.2	0.2
	300万円以上～700万円未満	100.0	87.7	26.3	6.2	57.5	88.7	8.7	22.3	12.3	11.2	8.0	8.8	2.0	0.5
	700万円以上	100.0	81.3	25.8	2.9	52.4	87.3	5.8	19.1	9.8	9.8	9.3	9.3	4.4	1.1

Q4. 物価動向があなたの生活に与えている影響について 当てはまるものをお教え下さい。

Q1.で「物価が非常に上がっている」「上がっている」との回答者



n=1340

物価上昇を実感している人のうち
負担を感じているのは
86.0%

Q1.で「物価が非常に上がっている」「上がっている」との回答者の
世帯年収ごとでみる影響

	い非生活 る常 にの な負 っ担 てに	な生 活 の い負 担に	ほ生 と ん に影 響 は	な生 活 に影 響 は
300万円未満	35.0%	60.2%	4.5%	0.3%
	95.2%			
300万円以上～700万円未満	26.3%	61.3%	12.2%	0.2%
	87.6%			
700万円以上	13.2%	61.5%	24.6%	0.8%
	74.7%			

n=1340

全体では低所得者層ほど、
生活への負担を実感している

物価上昇により、生活に与える影響として「負担」を挙げる人が86.0%に達しています。
また、世帯年収ごとで見た場合、負担を感じている人の割合は、「300万円未満」では95.2%、
「700万円以上」では74.7%と、20%以上の開きが見られ、低所得者層ほど負担を強く実感していることが分かりました。

<参考> 物価動向による負担感と詳細項目との相関

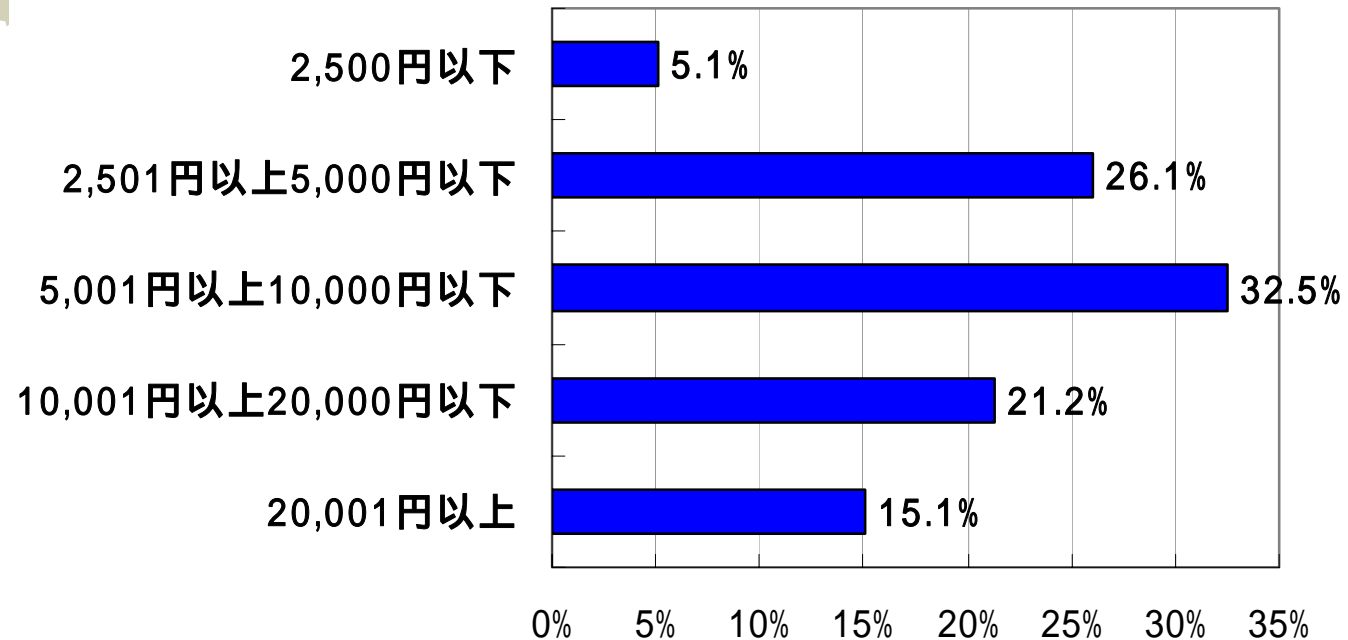
n=1500

		n	食品の値段	外食代	家賃などの住居費	電気・ガス・水道料	ガソリン・灯油代などの燃料費	家電製品の値段	医療費	衣料費	子どもの学校・塾などの教育費	携帯電話や固定電話、インターネットなどの通信費	自治体などが行う公共サービスの利用料	その他	価格が上がっていると感じるものはない
全体		1500 100.0	1294 86.3	387 25.8	77 5.1	849 56.6	1324 88.3	128 8.5	309 20.6	178 11.9	148 9.9	134 8.9	147 9.8	42 2.8	9 0.6
Q4物価動向があなたの生活に与えている影響	生活の負担に非常に なっている	349 100(%)	328 94.0	123 35.2	35 10.0	270 77.4	319 91.4	62 17.8	96 27.5	74 21.2	60 17.2	49 14.0	58 16.6	8 2.3	0 0.0
	生活の負担になっている	889 100(%)	778 87.5	220 24.7	38 4.3	474 53.3	808 90.9	56 6.3	188 21.1	85 9.6	74 8.3	73 8.2	83 9.3	23 2.6	1 0.1
	生活に影響はほとんど ない	250 100(%)	184 73.6	44 17.6	4 1.6	102 40.8	189 75.6	9 3.6	24 9.6	19 7.6	14 5.6	11 4.4	6 2.4	10 4.0	6 2.4
	生活に影響はない	12 100(%)	4 33.3	0 0.0	0 0.0	3 25.0	8 66.7	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	2 16.7

物価が上がっていると感じられる商品やサービスと生活負担実感を見た場合、負担感を強く感じている層では、食費やガソリンなどの物価上昇の直接的な影響に加えて生活の基盤をなす水光熱費や医療費の値上がりも比較的強く感じていることがわかりました。

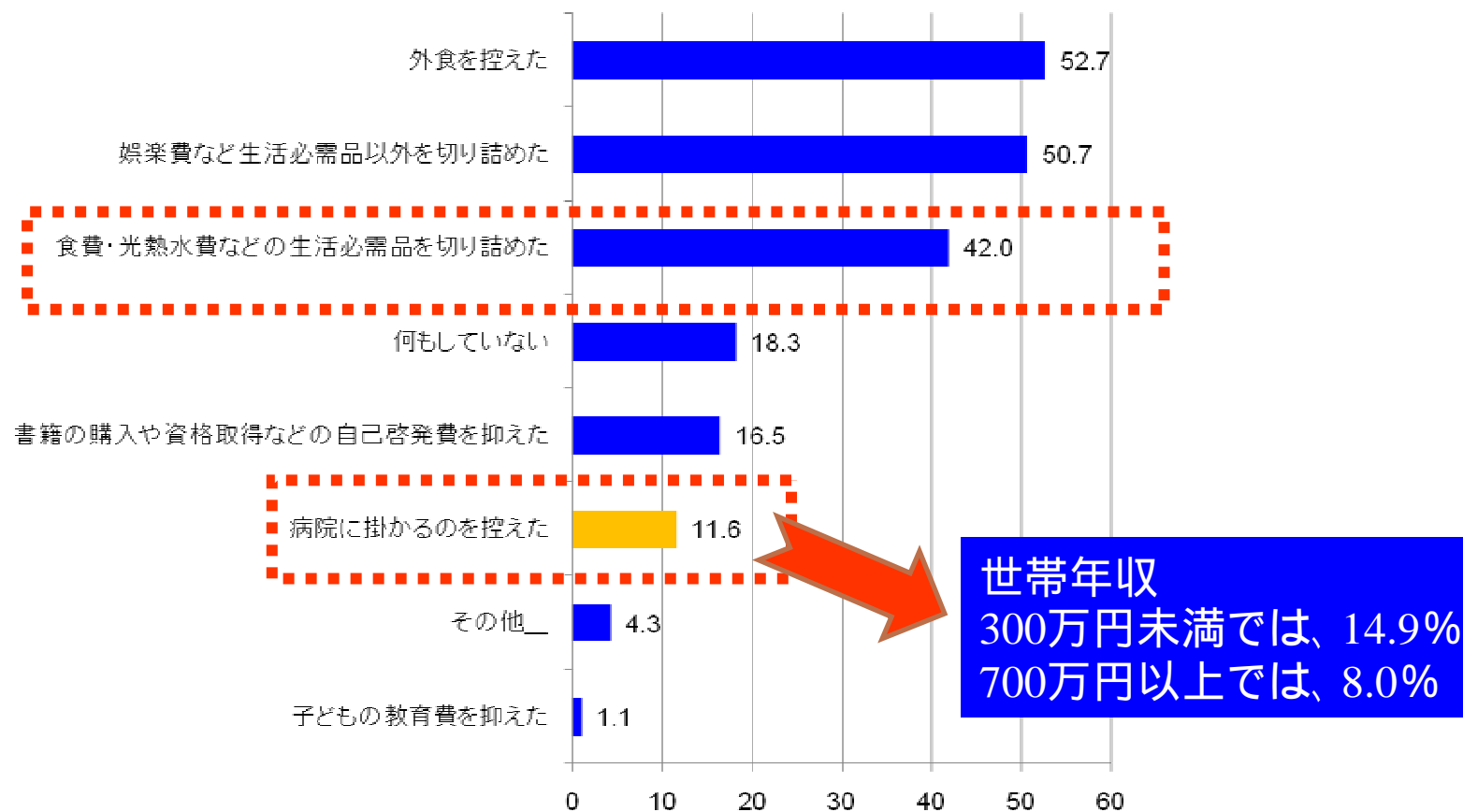
Q5. Q4で「生活の負担に非常になっている」「生活の負担になっている」とお答えの方にお伺いします
昨年と比べ、月々どの程度の負担増になっているとお感じですか。
実感値を「金額」でお答え下さい。(自由記入)

物価上昇による月々の負担増は10,000円超 と感じている人が3割を上回る



回答の多かった順に、「10,000円」356名、「5,000円」243名、「20,000円」203名となった。

Q6. 物価の上昇について、ご自身ではどう対応していますか。(いくつでも)



物価の上昇を受けてとった対応としては、「外食を控える」「娯楽費などの生活必需品以外を切り詰める」といった贅沢品の購買を抑えることが上位ですが、「生活必需品を切り詰めた」人も4割以上いることが分かりました。また、年収300万円未満のデータだけを見ると低所得者の生活では「病院にかかるのを控える」という生活の質にかかわる部分にも影響が出てきていることが分かりました。

< 参考 > 物価上昇による負担感が及ぼす生活行動への影響

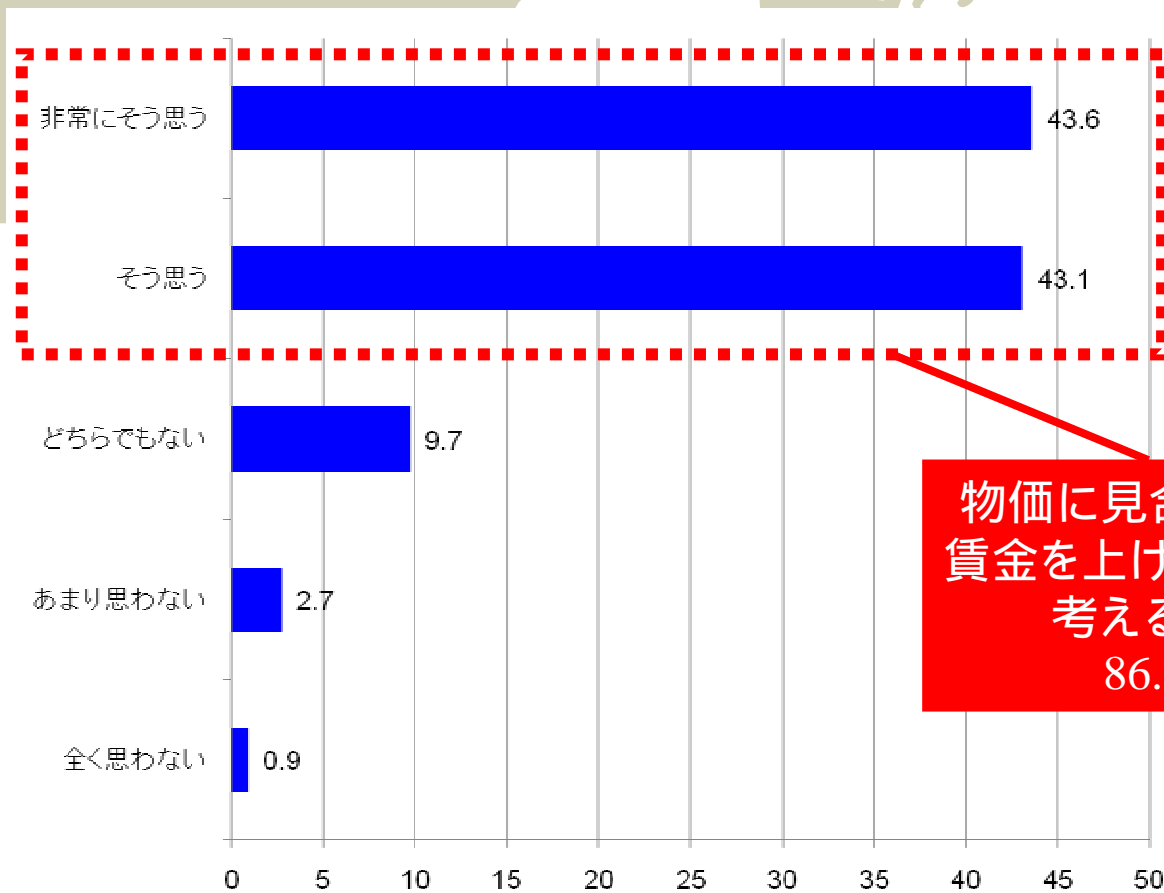
		n	娯楽費など生活必需品 以外を切り詰めた	外食を控えた	書籍の購入や資格取得 などの自己啓発費を抑 えた	子どもの教育費を抑え た	生活必需品を切り詰め た	食費・光熱水費などの 病院に掛かるのを控え た	その他	何もしていない
全体		1500 100.0	761 50.7	790 52.7	248 16.5	16 1.1	630 42.0	174 11.6	64 4.3	274 18.3
Q4物価動向 があなたの 生活に与え ている影響	生活の負担に非常に なっている	349 100.0	247 70.8	251 71.9	99 28.4	8 2.3	198 56.7	82 23.5	17 4.9	9 2.6
	生活の負担になっ ている	889 100.0	457 51.4	466 52.4	130 14.6	6 0.7	382 43.0	84 9.4	37 4.2	132 14.8
	生活に影響はほとん どない	250 100.0	56 22.4	73 29.2	19 7.6	2 0.8	50 20.0	8 3.2	10 4.0	122 48.8
	生活に影響はない	12 100.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 91.7

* は全体 + 10ポイント以上、 点描は - 10ポイント以下

物価の上昇が大きく生活の負担になっている層では、「病院にかかるのを控える」など生活の質に関わる項目に関しても、切り詰めていることが分かりました。

Q7.物価の上昇に見合ったかたちで賃金を上げるべきだと思いますか。

n=1500



物価に見合った形で
賃金を上げるべきだと
考える人が
86.7%

物価上昇に対して、それに見合った形で賃金の上昇を求める人が全体の8割以上となっています。